

関係者各位

公益社団法人群馬県歯科医師会
会 長 村 山 利 史
学術担当理事 高 井 良 浩
(公 印 刷 込)



口腔がん対策推進研修会開催のお知らせ

残暑の候 皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は本会の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

口腔がんは、命にかかわる疾患であり、その早期発見、早期治療はきわめて重要であるため、常日頃から患者さんの口腔内を直接診査している歯科医師の先生方をはじめ、歯科医療従事者の方々を対象に、口腔がんを含む口腔粘膜疾患に対する知識及び意識の向上を目的として、本研修会を開催しております。

今回は、口腔内に発生する口腔潜在的悪性疾患（前癌状態である扁平苔癬、前癌病変である白板症・紅板症など）との口腔がんの鑑別ポイントや口腔がんの局所浸潤・転移の基礎知識、診療ガイドラインに従った最新の口腔癌の治療の流れについてご教示いただきます。また開業医において日常で注意すべき口腔粘膜の病変について、症例をご提示いただく予定です。

お申し込みは下記 QR コードの申込フォームより 11月1日（金）までにお申し込みください。

※日本歯科衛生士会研修取得単位を申請中です。

記

日 時 : 令和6年11月10日（日）午前10時00分～午前11時30分
会 場 : 群馬県歯科医師会館4階第2会議室
演 題 : 「新たな情報で口腔粘膜の病変を診ることができる眼をさらに磨こう」
講 師 : 東京歯科大学 口腔病態外科学講座 教授 片倉 朗 先生
対 象 : 歯科医師、歯科衛生士、その他

—申込フォーム— ※申込締切…11月1日（金）まで

URL : <https://forms.gle/iw9yBE7qactaacEX6>

QRコード:



・必須事項を必ずご入力ください。

裏面参照

口腔がん対策推進研修会

【講演演題】

「新たな情報で口腔粘膜の病変を診ることができる眼をさらに磨こう」

【講演講師】

東京歯科大学 口腔病態外科学講座 教授

片倉 朗

【講演要旨】

2017年にWHOにより今までの前癌病変と前癌状態という分類が口腔潜在的悪性疾患(OPMDs)に改変され、2023年には新たな口腔癌診療ガイドラインが提示されています。疫学や病理組織学的診断の進歩、分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬の登場、放射線治療の進歩などにより口腔癌の診断と治療もここ数年で大きく変化しています。既に歯学部の子生はこれらの新しい内容で教育を受け、歯科医師国家試験問題にも反映されています。今回は、まず口腔粘膜の病変を診るうえで知っておくべき、口腔潜在的悪性疾患や診療ガイドラインに従った最新の口腔癌の治療の流れについて解説いたします。その後先生方の日常で注意すべき口腔粘膜の病変について、私どもにご紹介いただいた症例を提示しながら解説する予定です。

1. 口腔潜在的悪性疾患(OPMDs)について
2. 2023年版 口腔癌診療ガイドラインの概要
3. 口腔癌の治療に関するトピックス
4. 日常診療で注意すべき病変と対応
5. 皆様から御紹介いただいた症例を通じての解説

【講師略歴】

片倉 朗 (かたくら あきら)

1985年 東京歯科大学卒業

1991年 東京歯科大学大学院修了(歯学博士)

2003年~2004年 UCLA 歯学部口腔外科・医学部頭頸部外科に留学

2008年 東京歯科大学 口腔外科学講座准教授

東京歯科大学大学院「がんプロフェッショナル養成プラン」コーディネーター

2011年4月 東京歯科大学 オーラルメディスン・口腔外科学講座 主任教授

2015年4月 東京歯科大学 口腔病態外科学講座 主任教授、口腔外科部長

2019年6月 東京歯科大学水道橋病院 病院長

2022年6月 東京歯科大学 副学長、千葉歯科医療センター長

専門はバイオマーカーによる口腔癌の早期診断法と治療、MR技術による口腔外科手術の精度の向上、

(NPO) 日本口腔科学会 理事長・指導医

(公) 日本口腔外科学会 理事・指導医

(公) 日本老年歯科医学会 副理事長・指導医 他